

【資料1－1】

地域医療構想に基づく取組について



新宮保健所

令和7年8月20日

地域医療構想の実現に向けた取組について

平成28年度 ▶ 平成29年度 ▶ 平成30年度 ▶ 令和元年度 ▶ 令和2年度 ▶ 令和3年度 ▶ 令和4年度 ▶ 令和5年度 ▶ 令和6年度

地域医療構想調整会議

医療機関相互の協議により、各医療機能の必要量に向けて病床を再編

構想策定

- 各医療機関における具体的対応方針の速やかな策定に向けた取組
- 長期間非稼働となっている病床の廃止を求める通知

■ 地域医療構想推進アドバイザー設置

■ 『重症心身障害児施設の病床』の取扱い

国との協議を重ね、現状の病床数より控除する特例扱いとなる。

■ アンケートを実施し、対応方針を確認

- ・今後担う予定の役割
- ・2025年における機能別の病床数 など

■ 非稼働病床に係るヒアリングの実施

■ 「推進区域」設定 (有田・新宮)

病床機能報告

2015年 病床機能報告	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	未分類	総計
2025年までに増減すべき病床数	▲442	▲2,959	1,907	▲1,258	▲356	▲3,108

約3,000床が過剰と判明

■ 病床機能を明確化する 「定量的基準」導入

- 公的医療機関2025プラン策定 [県内9病院]
- 各圏域における公的病院を中心とした再編・ネットワークの方向性について適宜協議を実施

公立・公的病院

■ 地域密着型協力病院【県独自制度の創設】

急性期、高度急性期病院と在宅医療とをつなぐ役割を担う医療機関として指定
(27病院 ※R7.6現在)

県全体	総計	対応方針の策定・検証状況 (R7年3月現在)			
		合意・検証済		協議・検証中	
病床数	10,910床	10,521床	96.4%	389床	3.6%
医療機関数	124機関	115機関	92.7%	9機関	7.3%

進捗目標: 策定率が100%に達していない場合は、対応方針の策定率。
策定率が100%に達している場合は、実施率。

病床再編に係る取組

■ 「定量的基準」 見直し

各種補助金等を
組み合わせた取組み

地域医療介護総合確保基金

➢ 病床機能分化・連携推進事業補助金

病床機能の転換や廃止を行う医療機関に対し、施設や設備整備等に要する経費を支援

- ① 回復期病床整備事業
- ② 高度急性期病床整備事業
- ③ 病床廃止等事業

➢ 病床機能再編支援事業給付金

病床減少を伴う病床機能再編等に対し、病床利用率と減少病床数に応じた給付金を支給

- ① 病床減少に伴う財政支援
- ② 病院統合に伴う財政支援

病床数適正化支援事業

R6国経済対策補正予算

患者減少等により経営状況の急変等を受けて、病床数の適正化を進める医療機関を対象とした経費相当分の給付金を支給

【交付額】

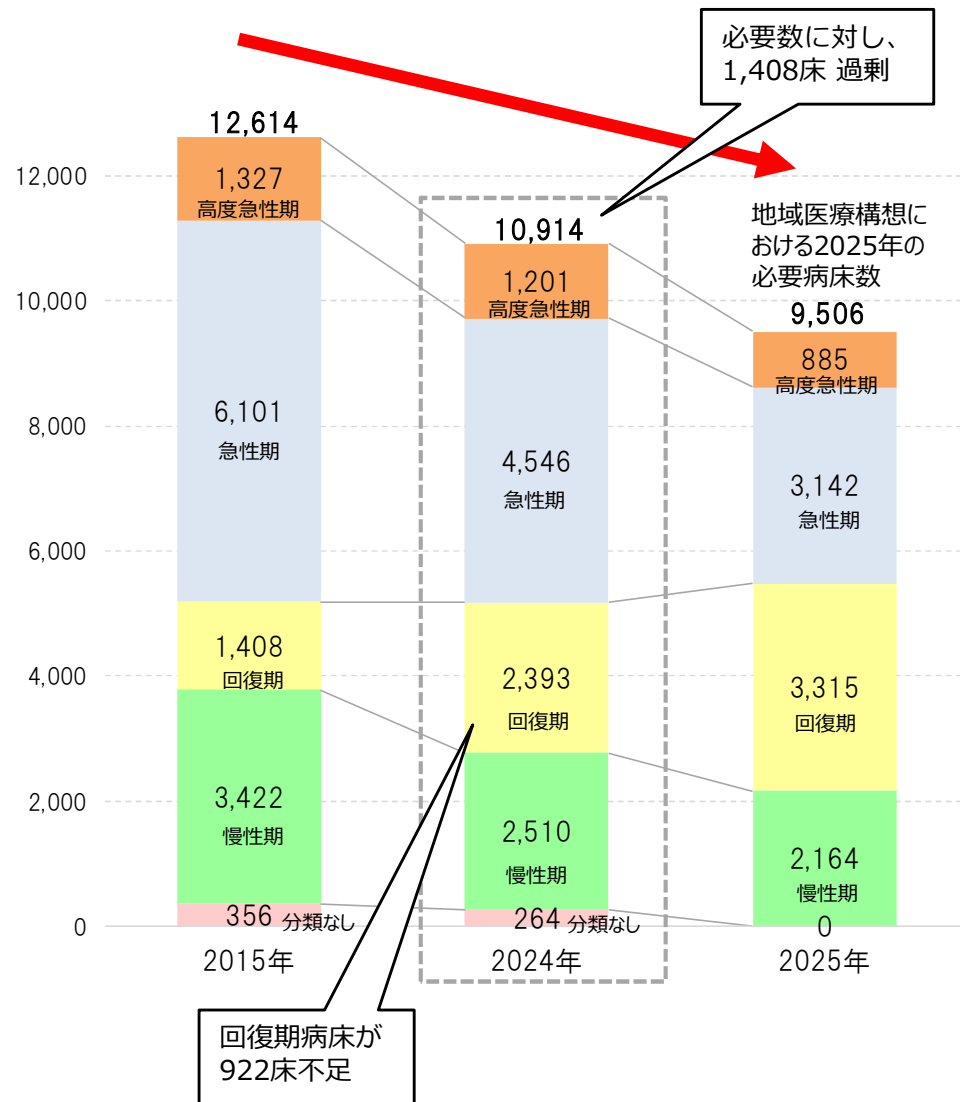
病院（一般病床・療養病床・精神病床）・有床診療所
4,104千円/床

地域医療構想

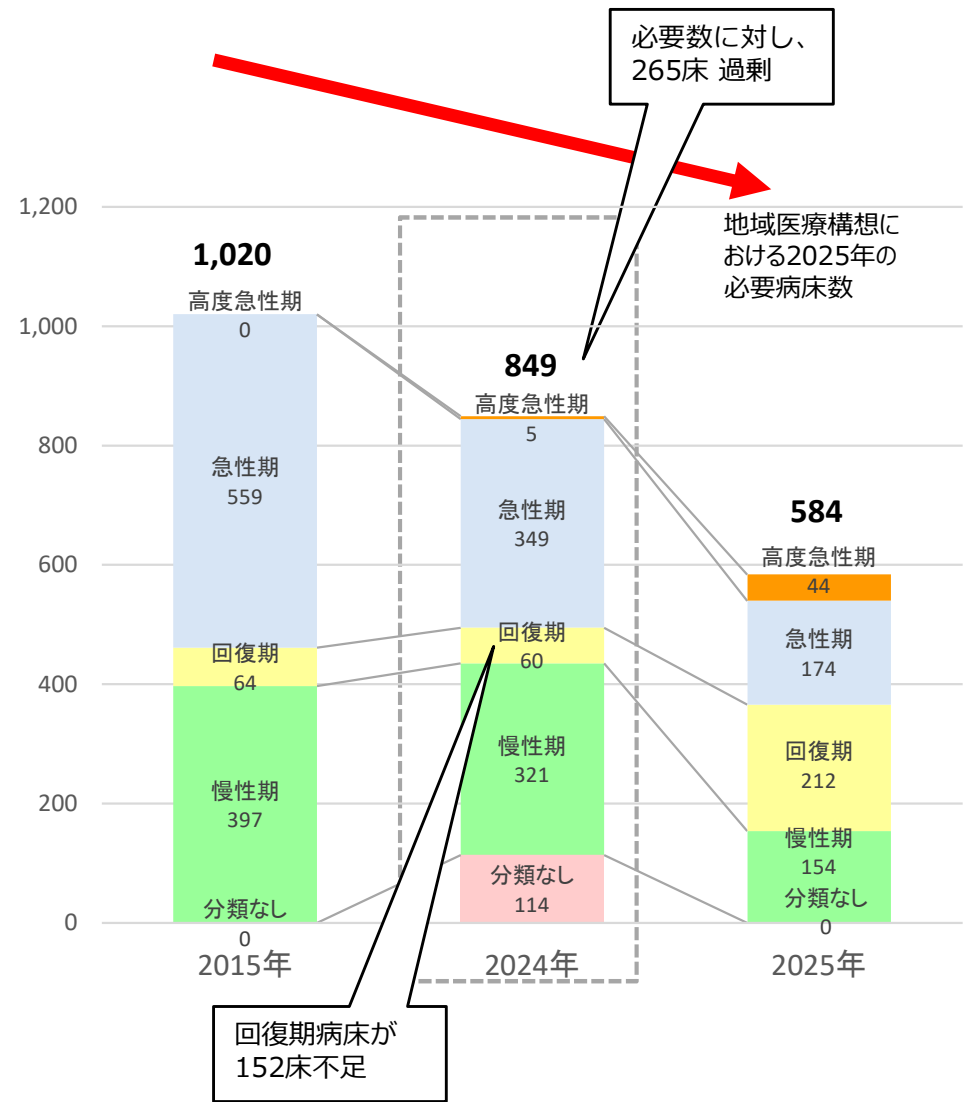
環境整備

地域医療構想における機能別病床数の推移

【和歌山県全体】



【新宮圏域】



「重症心身障害児施設の病床」の取扱いについて

●地域医療構想において、「重症心身障害児施設の病床」は、「慢性期病床」として算定。

矛盾が存在

●医療法に基づく「医療計画」においては、下記の特例措置が存在

特定の患者のみが利用する「重症心身障害児施設の病床」や「国立ハンセン病療養所の病床」は、病床数に算定しない。

(1) 上記に対する対応

- 関係医療機関に対する状況調査を実施し、地域の実情を確認。
様々な機会を捉えながら、国と協議を重ねる。
- 『地域医療構想策定』後も、国との協議を継続して実施。

- ・入院患者の多くが、他府県を含む圏域外より多く流入
- ・10年以上長期入院する患者が全体の半数以上を占める
- ・例えば、40年以上長期入院している患者なども珍しくない
- ・新規入院患者、退院患者数はごく少数

(2) 国との協議を重ねた結果、国との合意に至る(平成28年12月)

【取扱方針】

「重症心身障害児施設の病床」について、**現状の病床数より控除する特例扱いとする。**

「2025年の必要病床数」との比較（重症心身障害児施設の病床数を考慮）

圏域名	医療機能	【1】
		2025年度の必要病床数(床)
和歌山	① 高度急性期	588
	② 急性期	1,674
	③ 回復期	1,836
	④ 慢性期	863
	⑤ 分類なし	
	小計	4,961
那賀	① 高度急性期	48
	② 急性期	267
	③ 回復期	261
	④ 慢性期	385
	⑤ 分類なし	
	小計	961
橋本	① 高度急性期	65
	② 急性期	267
	③ 回復期	327
	④ 慢性期	78
	⑤ 分類なし	
	小計	737
有田	① 高度急性期	
	② 急性期	146
	③ 回復期	148
	④ 慢性期(特例)	201
	⑤ 分類なし	
	小計	495
御坊	① 高度急性期	20
	② 急性期	210
	③ 回復期	191
	④ 慢性期	234
	⑤ 分類なし	
	小計	655
田辺	① 高度急性期	120
	② 急性期	404
	③ 回復期	340
	④ 慢性期	249
	⑤ 分類なし	
	小計	1,113
新宮	① 高度急性期	44
	② 急性期	174
	③ 回復期	212
	④ 慢性期	154
	⑤ 分類なし	
	小計	584
県計	① 高度急性期	885
	② 急性期	3,142
	③ 回復期	3,315
	④ 慢性期	2,164
	⑤ 分類なし	
	小計	9,506

【2】	2024.7.1現在 病床数	【1-2】
	1,069	▲ 481
	2,147	▲ 473
	1,183	653
	1,022	▲ 159
	97	▲ 97
	5,518	▲ 557
		48
	360	▲ 93
	296	▲ 35
	293	92
	949	12
	6	59
	472	▲ 205
	214	113
	149	▲ 71
	841	▲ 104
	202	▲ 56
	188	▲ 40
	223	▲ 22
	45	▲ 45
	658	▲ 163
	8	12
	370	▲ 160
	171	20
	259	▲ 25
	808	▲ 153
	113	7
	646	▲ 242
	281	59
	243	6
	8	▲ 8
	1,291	▲ 178
	5	39
	349	▲ 175
	60	152
	321	▲ 167
	114	▲ 114
	849	▲ 265
	1,201	▲ 316
	4,546	▲ 1,404
	2,393	922
	2,510	▲ 346
	264	▲ 264
	10,914	▲ 1,408



「重症心身障害児施設の病床」数を、
4圏域の慢性期病床より控除

(R7.6.1現在)		
重症心身障害児施設 の病床数		医療機関名称
和歌山	57	愛徳医療福祉センター
那賀	136	つくし医療・福祉センター
橋本	0	
有田	0	
御坊	163	国立病院機構 和歌山病院
田辺	60	南紀医療福祉センター
新宮	0	
県計	416	4医療機関

病床再編等の対象となる病床数は
416床減少し、「約1,000床」に

【3】	【1-3】
2014年7月1日現在の 病床(床) ※重症心身障害児	
1,069	▲ 481
2,147	▲ 473
1,183	653
965	▲ 102
97	▲ 97
5,461	▲ 500
	48
360	▲ 93
296	▲ 35
157	228
813	148
6	59
472	▲ 205
214	113
149	▲ 71
841	▲ 104
	0
202	▲ 56
188	▲ 40
223	▲ 22
45	▲ 45
658	▲ 163
8	12
370	▲ 160
171	20
96	138
645	10
113	7
646	▲ 242
281	59
183	66
8	▲ 8
1,231	▲ 118
5	39
349	▲ 175
60	152
321	▲ 167
114	▲ 114
849	▲ 265
1,201	▲ 316
4,546	▲ 1,404
2,393	922
2,094	70
264	▲ 264
10,498	▲ 992

地域医療構想の今後の進め方

■ 構想区域毎の地域医療構想の推進に係る目標は、2023年度当初に対応方針の策定率が100%に達していない場合は、対応方針の策定率。

既に対応方針の策定率が100%に達している場合は、合意した対応方針の実施率。

(和歌山と田辺構想区域以外の構想区域については、すべての医療機関の具体的対応方針合意済)

■ 2025年の課題【新宮保健医療圏】

- ・必要病床数に対して病床過剰
(+265床)
- ・非稼働病床が154床
- ・回復期病床の不足
(△152床)

課題を解決するためにこれまでの取り組みを引き続き継続(強化)

① 非稼働病床については、病床の廃止や他施設への転換について引き続き依頼 (【具体的な対応】ヒアリングを実施)

〈ヒアリング対象〉

非稼働病床数が 10床以上の医療機関

〈ヒアリング内容〉

非稼働の理由、非稼働病床の今後の予定 等

※非稼働病床を廃止する場合など、具体的な方針が決まっている場合は調整会議で合意を得る。

※病床を削減や機能転換する際には、補助金等を使える可能性有。

② 今後の対応方針への実施状況を確認

③ 病床機能に係る定量的基準を参考に、病床機能の報告を依頼 (【具体的な対応】定量的基準に基づいた報告を再度依頼)

医療機関別の病床数等

確定値

【新宮保健医療圏構想区域】

(1) 病院

(単位: 床)

医療機関名	病棟名	医療機能	一般病床			療養病床			非稼働病床数 (※1ー※2)	入院基本料・特定入院料 及び 届出病床数 (※1)											
			許可病床数 (※1)	最大使用病床数 (※2)	最小使用病床数	許可病床数 (※1)	最大使用病床数 (※2)	最小使用病床数		急性期一般入院料 1・3	急性期一般入院料 4・5	急性期一般入院料 6	地域一般入院料	療養病床入院料	障害者施設等入院基本料	入院医療管理料	ハイケアユニット	回復期リハビリ病棟入院	地域包括ケア病棟入院料	緩和ケア病棟入院料	入院料等の届出なし
新宮市立医療センター	3階	高度急性期	5	5	2											5					
	3階	急性期	26	—	—				26	休床中											
	4階東	急性期	45	41	16				4		45										
	4階西	急性期	55	54	12				1		54										
	5階東	急性期	50	50	32						50										
	5階西	急性期	50	50	24						50										
	6階	回復期	50	24	0				26	休床中									24		
那智勝浦町立温泉病院	3階西	急性期	30	30	20							30									
	3階東	慢性期	30	30	15										30						
	4階	回復期	60	60	33							46							14		
新宮病院	2病棟	慢性期	55	55	55										55						
	4病棟	慢性期	29	29	29										29						
日進会病院	医療療養病棟	慢性期				82	57	46	25					82							
くしもと町立病院	3A病棟	急性期	44	36	19				8		44										
	3B病棟	急性期	46	36	17				10		26								20		
	4A病棟	慢性期				20	16	6	4					20							
串本有田病院	一般病棟	慢性期	45	44	33				1				45								
	療養病棟	慢性期				60	54	47	6					60							
新宮圏域(病院)計			620	544	307	162	127	99	111		269	76	45	162	114	5			58		

(2) 診療所

(単位: 床)

医療機関名	病棟名	医療機能	一般病床			療養病床			非稼働病床数 (※1ー※2)
			許可病床数 (※1)	最大使用病床数 (※2)	最小使用病床数	許可病床数 (※1)	最大使用病床数 (※2)	最小使用病床数	
坂野医院			13	—	—	6	—	—	19
木下医院			19	19	8				
玉置整形外科医院			19	—	—				19
いずみウイメンズクリニック			10	5	1				5
新宮圏域(診療所)計			61	24	9	6	0		43

(※1) 2024年7月1日現在

(※2) 2023年4月～2024年3月における「最も多く患者を収容した時点で使用した病床数」(病棟単位で算出したものを合計)

(注) 入院基本料・特定入院料の届出病床数は病床機能報告により各医療機関から報告された数であり、厚生局が公表している施設基準の届出受理状況と一致しないものもあります。